

2026(令和8)年度 大学コンソーシアム大阪 中堅層向けSD研修シラバス

プログラム名	2026(令和8)年度 中堅層向けSD研修 「大学職員の歩み方ー役割とあり方の再定義ー」	
実施日時	2026年10月27日(火) 14:00 ~ 17:30 情報交換会17:30~18:00	
実施会場	大学コンソーシアム大阪	
担当講師名	佐藤 浩輔(大阪体育大学 庶務部 学長室担当 チーフ) 藤原 哲(大阪公立大学 森之宮学務室 教務担当課長) 山本 博(京都橘大学 情報システム課 課長) 前河 泰正(大阪国際大学 企画・IR室 課長補佐)	
受講可能人数	30名(最少実施人数4名)	
主な受講対象者	入職5年から25年程度の若手から中堅層職員(課長以上の管理職を除く) ※テーマに関心がある方、自身の役割や業務の取り組み方に悩みやギャップがある方、大学の教育・研究・社会貢献活動等の支援をさらに促進したいと考えている方などで、課題感を持ち、他者との対話を通じて視野を広げたい方	
プログラム概要(目的)	法人・大学組織における中堅層職員は、基幹業務の遂行の中で、企画立案、部署間調整、教職協働、後輩育成など、多様な役割を担う存在です。こうした幅広い役割を果たすためには、自身の価値観や行動を整理し、日々の業務や職場をより良くするための視点を持つことが重要になります。 本研修では、その視点を育むために、大学職員が担う基盤的な役割である「教育の場をつくる」という考え方を出発点とします。「教育の場をつくる」とは、大学職員が教育・研究・社会貢献活動並びに学生支援を含め、大学の諸活動をより良くし、大学全体の発展に資することを指します。研修では、困難な場面を想定したケースを素材として、どのような思考や働きかけによって周囲との協働を促し、業務の改善などにつなげられるのかを議論します。参加者同士の対話を通じて、自身の役割や価値観を再定義し、職場を少しずつ前進させるための行動計画を描くことを目標とします。こうした学びを通して、日々の業務や職場をより良くすることが、大学への貢献や自己成長につながっていくことを探ります。	
プログラムの到達目標	(1) 教育の場づくりに関わる自身の役割を説明できる。 (2) 職場をより良くするための改善行動を言語化できる。 (3) 自身の判断理由を他者に説明し、他者の意見の要点を理解した上で、適切に意見交換できる。	
プログラム内容	時間(210分)	内 容
	1 14:00~14:05	趣旨説明(講師紹介/目的・目標の確認/スケジュール確認)
	2 14:05~14:15	アイスブレイク(自己紹介・イメージする中堅の職員・課題に感じていること等)
	3 14:15~14:35	話題提供(各講師による話題提供)
	4 14:35~14:45	導入ワーク:教育の場づくりを考える
	6 14:45~14:50	ケーススタディーの読み込み・検討
	7 14:50~15:10	個人ワーク1:ケース理解のための個人検討 ※休憩を含む
	8 15:10~15:55	グループワーク:ケース理解のためのグループ討議
	9 15:55~16:05	グループ討議による要点の整理
	10 16:05~16:25	ケーススタディーのグループディスカッションの発表
	11 16:25~16:35	事前質問などへの回答
	12 16:35~16:40	個人ワーク2:説明
	13 16:40~16:55	個人ワーク2:研修全体の振り返り・アクションプラン
	14 16:55~17:00	アクションプランをペア内でのシェア
	15 17:00~17:20	アクションプランをグループ内でのシェア
	16 17:20~17:30	まとめ
	※終了後、17:30~情報交換会	
事前課題	研修事前アンケートにご回答をお願いします。	
事後課題	受講者アンケートにご回答をお願いいたします。	
参加費	無料	
備考		